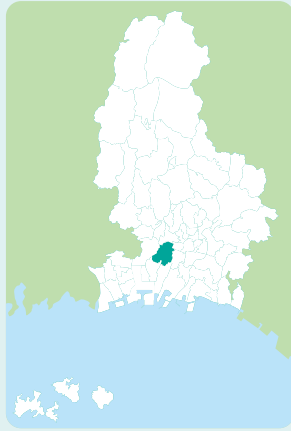


17

あらかわ 荒川地区

別紙MAP
D-6・7



西庄地藏石仏
(ガチャガチャ地藏)



主山八幡神社
秋祭り

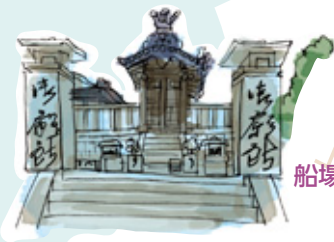


岡田北公園 etc

荒川神社

山陽新幹線

姫新線



● 姫路商高

船場本徳寺廟所

● 荒川小学校



佛日山法輪寺
(秀吉ゆかりの湯沢山茶くれん寺)

大井川

水尾川

町坪五輪塔

中地ランプ 中地地藏

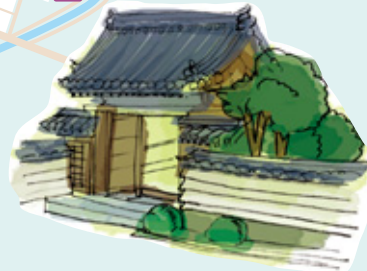
2 姫路バイパス

苦道国主神社
(秋祭り10月第2日曜日)

玉出山善正寺



- | | |
|------------------|------------|
| 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | 伝統芸能
など |
| 神社・仏閣、
歴史的建造物 | 景勝 |
| 歴史上の
人物など | 生物・花 |
| 祭り
伝統行事 | 町並み |
| 美術品 | etc その他 |



0m 500m 1km

荒川神社



荒川神社山麓を斎川が流れていた頃、岡田に水を引く水口にあたる所が井ノ口と言われていた。祭礼日には鳥居道に町坪・中地・玉手・井ノ口の屋台が、北の参道には岡田・西庄の屋台が入ってくる。狭い通りを屋台が通るのは壮観。



中地地蔵



中地の地名は、湿地でもなく乾地でもなく中位の土地であったことに由来する。後ろには手柄山、前面は湿地の多い所であった。南北幹線開通により中地の地蔵さんも西に移された。



岡田北公園

etc



古くから漣川(すくいがわ)が流れ、湧水が豊富に自噴していた。北の湧水池は、昔子供たちの泳ぐ姿が見られた。今は、親水空間を生かした岡田北公園になっている。南の湧水池は枯渇し、チビツ子広場になっている。



町坪五輪塔

南西部の田畔に五輪塔が見つかり、復元されている。天正8年(1580)英賀城合戦の際に討死した町坪弾四郎の埋骨立塔跡と思われる。今も供養の香花が続いている。



玉出山善正寺



播磨の真宗寺院でも開創期を最も古くする寺院である。昭和62年に新しく本堂、山門が再建された。玉手周辺は大規模な区画整理も完成し、並木の通りや公園、新しい街づくりが広がっている。



土山八幡神社秋祭り



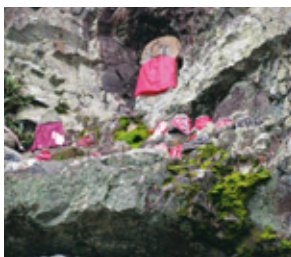
境内には保存樹「くすの木」が枝を広げる。例祭(百膳祭)では子供神輿が境内を華やかに巡る。昔はドンコ祭と言われ、夜には「仁輪加」といって素人役者が演ずる芝居が人気だった。また、神社南30mの場所に石の大鳥居があった。



西庄地蔵石仏 (ガチャガチャ地蔵)



南北朝時代の正平22年(1367)の建立、像高90cm。「普為法界衆生願主成西敬白」の刻銘あり。地蔵を西庄裏山の岩場から村中に移したところ、元の所に帰りたいたとガチャガチャとゆれて音を出したので元に戻したと伝わる。



苦道国主神社 (秋祭り10月第2日曜日)



主神の苦道大神はこの地を開発し経営した地主神で、往古より鎮座されていた。お旅所からは播磨灘が一望でき、絶景である。秋の一日、苦編、西苦編の住民が集い、屋台を練り上げる。急坂、階段あり、眺めの良さを楽しませられている。



船場本徳寺廟所



東のお山(東本願寺姫路別院本徳寺支坊)、姫路船場本徳寺の廟所である。船場本徳寺は城主本多忠政が寄進創建され、城主の庇護のもと大伽藍に発展した。城内にあった廟所が井ノ口に移され、御山廟所となった。



佛日山法輪寺 (秀吉ゆかりの湯沢山茶くれん寺)



寺の由来は平安時代にさかのぼり、江戸期に妙心寺派佛日山法輪寺となる。英賀城攻めの時、平侍の格好で立寄り茶を所望した秀吉に茶を出そうとせず、のちに正体を明かした秀吉が、湯沢山茶くれん寺と寺号を与えたと伝わる。



1 地域夢プランの歩み
〜はじまりからこれまで〜

2 地域夢プランのかたち
〜取組の類型化〜

3 地域夢プランのとりえ方
〜検証と未来へのアプローチ〜
(1) 「姫路市地域夢プランの構築」

3 地域夢プランのとりえ方
〜検証と未来へのアプローチ〜
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

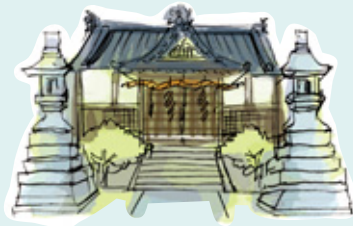
4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(2) 地域資源一覧

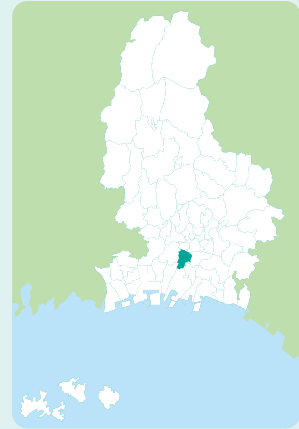
18

てがら 手柄地区

別紙MAP
D-7



☪ 岡山神社



姫新線
山陽新幹線

☪ 大年神社(東延末)



etc 慰霊塔
(太平洋戦全国戦災都市空襲死没者慰霊塔)

山陽本線

◎ 山陽中学校

etc 姫路中央卸売市場

◎ 手柄小学校

▲ 手柄山

手柄駅

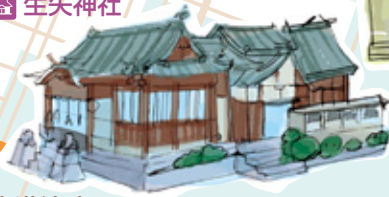
☪ 鞆田(ともだ)神社



◎ 市役所

☪ 三和(さんな)寺

☪ 生矢神社



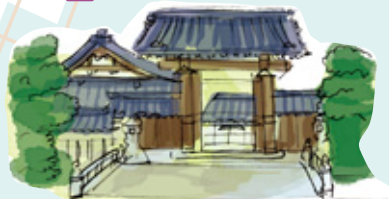
船場川
姫路バイパス

旧飾磨港線跡

龜山駅

☪ 龜山本徳寺

山陽電鉄本線



- | | |
|------------------|------------|
| 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | 伝統芸能
など |
| 神社・仏閣、
歴史的建造物 | 景勝 |
| 歴史上の
人物など | 生物・花 |
| 祭り
伝統行事 | 町並み |
| 美術品 | etc その他 |

0m 500m 1km

生矢神社



主祭神は大己貴命(大国主命)。飯田、亀山、手柄、栗山の氏神。神功皇后の三韓出兵の際、麻生山から放った三本の矢の一つが落ちたところ。平清盛が厳島への往還の際、霊夢に感じ、「生屋大明神」の神号を奉る。



旧飾磨港線跡



「飾磨港線」は通称で、播但線の一部。姫路一飾磨間5.6kmが明治28年4月17日に開業。亀山駅は同30年12月1日に開業。姫路駅一(一時、豆腐町駅)一亀山駅一飾磨駅一飾磨港駅。昭和61年10月31日廃線。



慰霊塔

(太平洋戦全国戦災都市空爆死没者慰霊塔)

etc

昭和31年10月建立。不戦の誓いを込めて、剣を逆さまに突き立てた造形。



三和(さんな)寺



臨済宗妙心寺派。薬師堂の本尊薬師如来坐像と十一面観音坐像は恵心(1673~81)僧都源信作と伝わる。作風からは鎌倉後期の作か。延宝の頃(1673~81)、網干龍門寺の盤珪和尚の高弟祖什の再興。



大年神社(東延末)



延末三町の鎮守社。祭神は大年大神、君田大神他。延末村の豪農三輪嘉右衛門により、現在地に移転。境内に手柄村第九代村長・田中泰造翁(明治44年~昭和11年在職)の顕徳碑がある。



手柄山



標高約50m。三和山とも言う。大永年間(1521~28)には、三輪法泉が手柄山構居を置いた。江戸時代に、刀鍛冶が居住し、作刀した。手柄山氏繁が著名。「播磨磨刀匠顕彰碑」がある。



胄山神社



祭神は天照大神他。元禄14年(1701)9月、姫路城主本多政武(忠国)が、姫路城の裏鬼門を守るため、社領八石を寄進して創建。元禄14年銘の水盤あり。胄山は、「播磨国風土記」の「胄丘」にあたる。



鞆田(ともだ)神社



安田の氏神。祭神は市杵島姫命。往時、鞆田川の氾濫で、桑原村(西中島)から漂着した御神体を祀ったものという。



亀山本徳寺



蓮如上人開基。浄土真宗本願寺派。「亀山の御坊さん」の名で親しまれる。天正8年(1580)の羽柴秀吉の英賀攻略後、秀吉から三百石の寄進(寺領宛行)を得て、同10年に、英賀から亀山に移る。



姫路中央卸売市場

etc

昭和32年10月20日、姫路市が設置者となり、全国で15番目の中央卸売市場として開設された。敷地面積5万8,400㎡。



1 地域夢プランの歩み
〜はじまりからこれまで〜

2 地域夢プランのかたち
〜取組の類型化〜

3 地域夢プランのとらえ方
〜検証と未来へのアプローチ〜
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとらえ方
〜検証と未来へのアプローチ〜
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
〜地区からの情報発信〜
(2) 地域資源一覧

19

じょうよう 城陽地区

別紙MAP
E-7



阿保神社



字宮前に鎮座。祭神は天照皇大神。「播州神社考」には祭神として「天照皇大神、品陀別命、天兒屋根命、伍堂社」が記されている。創建年代や由緒は不明。明治7年2月には村社に列せられている。昭和47年改築。



庄田天満神社



祭神は菅原道真。本殿は一間社流造。「村翁夜話集」に神社名が記されている。明治7年に村社に列せられる。毎年10月第2土・日曜日には、秋季例祭が行われる。



宇賀神社



祭神は宇賀ノ魂神。名は昭和4年の大改修時に鳥居の扁額に挙げたもので、登記上は稲荷神社。「村翁夜話集」には「稲荷社 中阿保村氏神 村中持」とある。阿保(英保)の名は「播磨国風土記」にも見え、早くから開けた地域である。



南条大年神社



祭神は、穀物守護の大年神。本殿は、一間社流造。「村翁夜話集」に「妙見大明神社 神霊八大白星」と記されている。明治初年、大年神社と改称。



春日神社(豊沢)



「播磨鑑」によれば八木春日ともいい、神功皇后が麻生山に御座の時、大己貴命に告げて八木杉を生えさせた。寛和2年(986)、巨智延昌が勧請して祀ったと伝わる。「播州名所巡覧図絵」に「春日明神」として紹介されている。



刃の宮地蔵



「播磨鑑」によれば、刀匠三条小鍛冶宗近が宇佐八幡宮に向かう途中、夢で「神剣を松原神宮に奉納するように」と神託を受け、神狐孫太郎と共に小剣を作り、松原神宮に奉納。宗近がこの地で果てたので、地蔵を安置して祀ったという。



虚無僧塚と人身御供神事



北条天満宮から三宅八ノ宮の藪に住み、田畑を荒らした八ツ目イタチを虚無僧が退治したことにちなむ「オトウ」と称してくじで男女を決めて神に詣でる人身御供神事が明治末年まで残っていた。参道入口に虚無僧塚の石碑がある。



北条天満神社



祭神は菅原道真。由緒等は不明だが、池田輝政より高五石を寄進された墨印状や応仁2年(1468)に北条村が広峯神社領として寄進されていることから、神社の創建は古いと思われる。参道の鳥居は寛文4年(1664)建立。



三左衛門堀(現外堀川)



慶長年間、池田三左衛門輝政が、姫路城外堀と飾磨津を結ぶ運河として掘り進めたもの。未完だが輝政の名に因んで三左衛門堀と言われる。



薬師堂



地元では、「乳貰い薬師」とも呼ばれ霊験あらたかな名刹として信仰を集めていた。昭和20年の戦災で焼失。同44年に有志によって再建。お堂の前には「豊公馬繁松跡」の石碑が建立されている。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの構築」

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

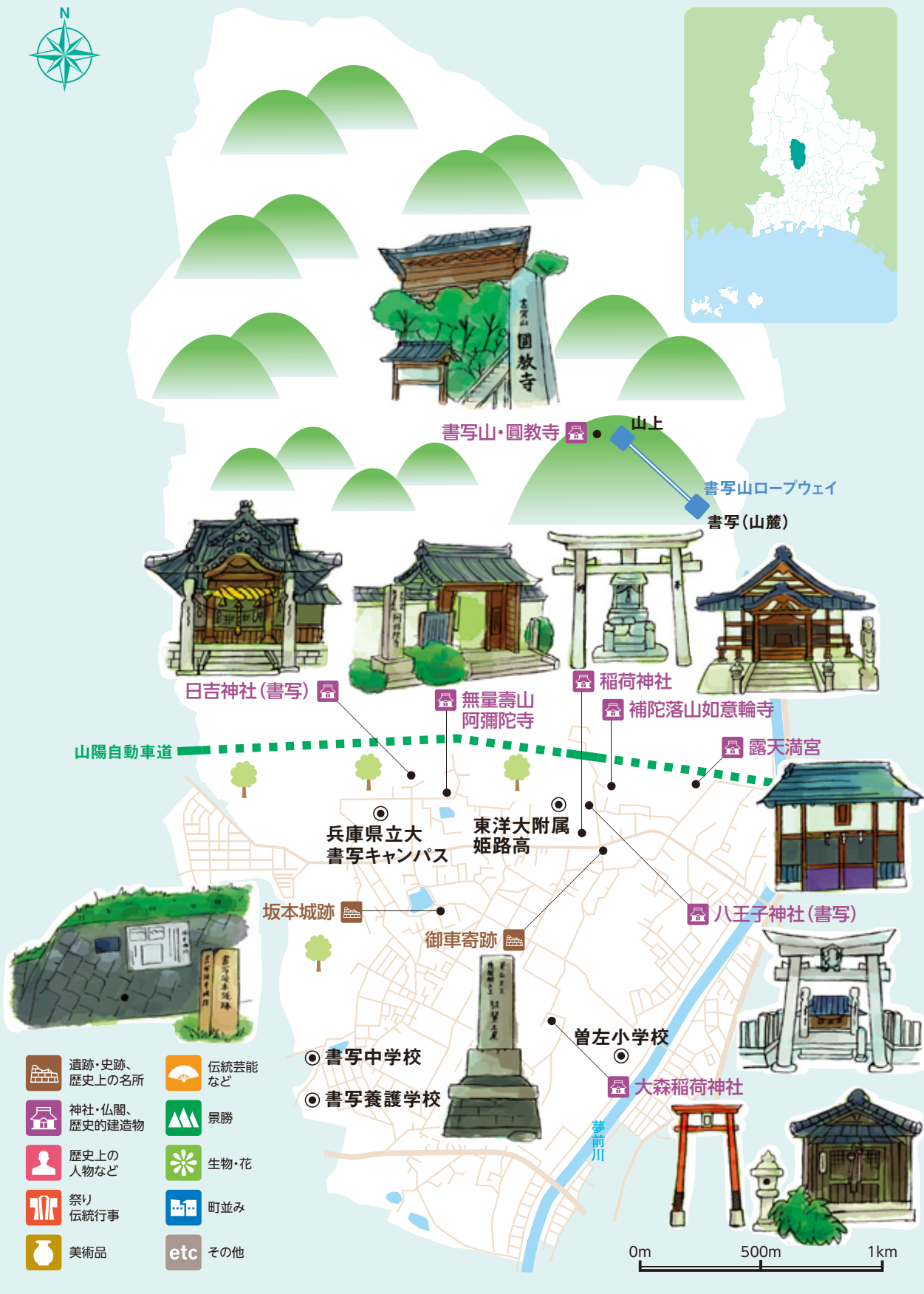
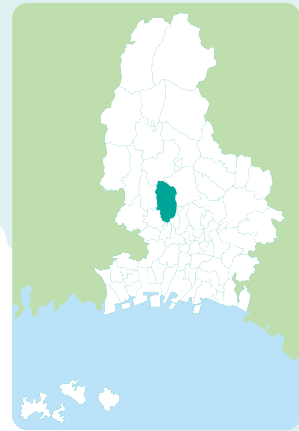
4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

20

そ さ 曾左地区

別紙MAP
D-5・6



稲荷神社



この地区の守護神であるという。書写山麓の東坂本の集落をほぼ見渡せる地にあった。中央のムクツツバキの常緑樹の下に小さな祠がある。昭和になってからは、7月15日に八王子神社の湯立祭の終了後、稲荷神社祭が行われている。



露天満宮



創建年不詳。慶長6年(1601)「池田輝政公御検地明細地図」と付箋のある絵図に、天満宮が書写山東麓に描かれている。明治4年4月の記録には、東坂本村氏神と記されている。祭神は菅原道真。



大森稲荷神社



祭神は倉稲魂大神。「田井の大森さん」と親しまれている。寛延の大水害まで、この社の周辺に田井の集落があったのが、古屋敷の字名の起こりであろう。境内のムクノキとエノキの古木は市の保存樹に指定されている。



八王子神社(書写)



書写山の性空上人が廣峯神社の分霊を書写山鉢ヶ坪に迎え王子権現と称した。祭神は素戔鳴尊と八柱御子神(五男三女神)。天正年間(1573～92)、神々を東坂の神籬(ひもろぎ)の空間に社殿を構え遷座した神社である。



御車寄跡



花山法皇や後醍醐天皇が書写山行幸の際、車駕を駐輦された屋敷跡。「播州書写山一見記」に「四辻困壇 車屋敷ト号ス」とあり四面を瑞籬で囲んだ基壇が存在した。昭和10年東坂青年会が発起して駐輦碑を建立。



日吉神社(書写)



性空上人が比叡山の守護神・山王権現の分霊を迎えて書写山の鎮守とした。長和年間(1012～17)、この神々を慶雲上人が社を創建して奉斎、山王七社の神々の本地仏(三聖四菩薩)に倣い、三聖堂あるいは山王社と称した。



坂本城跡



平城で別名を堀之城または御構御所ともいう。城の規模は堀を含めて180m四方の大きさと考えられる。応永29年(1422)赤松満祐が播磨支配の拠点として築城。赤松円心の時代、播磨支配の構居としていたとも考えられる。



補陀落山如意輪寺



長保4年(1004)書写山開祖性空上人開基の古刹で、本尊は如意輪観世音菩薩半跏像。応永5年(1398)書写山は女人禁制となり、心空慈傳上人は同寺の傍らに女人堂を創始、女人巡礼の札所とした。



書写山・圓教寺



康保3年(966)、性空上人が開いた天台宗の寺で、盛時は山上に170ほどの院や坊があり、天台宗三大道場の一つであった。天皇や貴族も訪れ、西国第27番の観音霊場でもあり重要文化財が多く、境内は史跡に指定されている。



無量壽山阿彌陀寺



長久2年(1041)書写字西ノ口に養李が開基。本尊は阿彌陀如来。応永5年(1398)兵火で焼失。室町幕府4代將軍足利義持が、赤松義則(則村の孫)に命じて小河玄助に再建させた。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

21

はくちょう

白鳥地区

別紙MAP
C-6、D-6



齋神社



齋(いつき)神社は、実法寺と町田の氏神。「飾磨郡誌」によれば、昔播磨一の宮の伊和神社の分霊を総社に勧請した時、ここで休んだことから、後年に分霊を勧請して祀った。門は安志藩陣屋(安富町安志)の大手門といわれ明治初期に移築。



荒神社



実法寺の地神で「竈(かまど)神社」と呼ばれ、火災を防ぐ神様として敬われてきた。拝殿に伊勢へ参宮した人達が明治36年に奉納した「七福神図」がある。社の裏に赤松氏の家臣川口三郎太夫と助四郎主従の五輪塔がある。



大歳神社(飾西)



菅生川東岸の山麓にある飾西の氏神。飾西宮山を鎮守の森として飾西の里と共に守られてきた。宝暦10年(1760)の石灯籠、文化10年(1813)の石鳥居などがある。平成12年全面改築。



飾西本陣



「飾西」は江戸時代初期ごろから、因幡街道の駅場(宿駅・宿場)として繁栄した。播磨地方を測量した伊能忠敬の一行が文化10年(1813)に飾西本陣並びに内海屋才助に止宿したことが「伊能日記」に残る。現在は、本陣門構えと書院一棟が残る。



笠寺



播磨大塚の巨智延昌は、寛和2年(986)と長保4年(1002)、花山法王の書写山御臨幸に供奉し、圓教寺の性空上人に深く帰依し、この地に当寺を建立した。当初、薬師堂は長池の所にあったが、江戸時代に現在地に移った。



菖蒲山実法寺



菖蒲山の名は、実法寺一带に菖蒲が生じていたことによる。慶長年間(1596～1615)の創建で、伯母山の麓に本尊の十一面観音を安置していたが、享保年間(1716～36)に現在地に移したという。この門前に発達した村であるので実法寺村といった。



観音堂



黄檗宗の寺。境内の大師堂には四国八十八箇所の霊場の第1番・第44番・第88番の三体の地蔵を勧請して、お堂を造り祀る。また、実法寺廃寺跡といわれ、この辺り一帯に七堂伽藍の大寺があったと言われている。



寺谷山真光寺



天文3年(1534)教順の開基にかかる浄土真宗本願寺派の寺院。当時は想(そう)道場として実法寺西部の寺谷にあったが、正保年間(1644～48)に現在地に移転。元禄5年(1692)本山より本尊を下付され、寺号を真光寺とした。



顕正院妙見堂



大歳神社の北にあり、妙見大菩薩を祀る。文政年間(1818～30)に飾西本陣の中山助太夫がこの寺を開き、息子が本堂を建立と伝わる。境内に寛政6年(1794)に建てた題目塔があり、助太夫が母の菩提を弔う為の墓石や代々の廟がある。



道標(飾西)



白鳥小学校の西(飾西・町田字界)にある。「右 ひめぢ 左 書写山」と刻まれている。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりからこれまで～

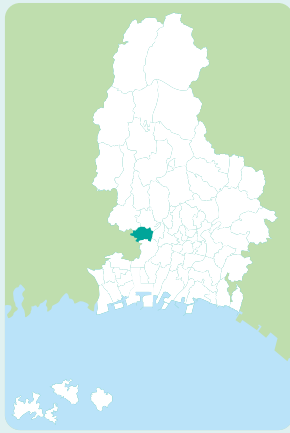
2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとらえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧



矢落ちの森



余部駅



稲丘・稲岡神社

「お陰参り図」
絵馬

姫新線



旧山陽道の
道標(青山)

夢前川



龍野街道(桜峠)

青山小学校

法灯寺(遠山の地藏さん)

人丸神社

宗全寺・遠地風鐘
(青山八景-其の七)

旧山陽道街並と
教専寺



黒田官兵衛古戦場跡



- | | |
|------------------|------------|
| 遺跡・史跡、
歴史上の名所 | 伝統芸能
など |
| 神社・仏閣、
歴史的建造物 | 景勝 |
| 歴史上の
人物など | 生物・花 |
| 祭り
伝統行事 | 町並み |
| 美術品 | etc その他 |



0m 500m 1km

稲丘・稲岡神社



稲丘は「播磨国風土記」の14の丘の一つ(稲牟礼丘)。祭神は豊受姫大神・射目崎明神とあり、射目崎明神は「日本三代実録」貞観10年(868)の条にみえる国史見在神。当社より北方に祀られていたが、のちに稲岡神社に合祀された。



宗全寺・遠地風鐘 (青山八景-其の七)



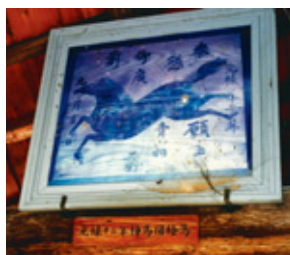
稲岡神社から旧山陽道西。薬師堂内「宗全寺跡(五重の塔)」は嘉吉の乱(1441)のとき、播磨国守護となった山名宗全(持豊)が戦死した一族や家臣の菩薩を弔うため建立した寺であるという。



「お陰参り図」絵馬



稲岡神社の旧本殿を転用した絵馬殿にある。伊勢参り一行や青山の遠景などが描かれる。文政13年(1830)奉納。県指定文化財。ほか延宝3年(1675)の神馬図、天和2年(1682)の境内図、同3年合戦図などがある。



龍野街道(桜峠)



旧古代山陽道で播州赤穂と青山を結ぶ。概ね山陽道に並行し、あたかも天下の往来を避けたかのような街道。別名「隠れ街道」、赤穂浪士の「隠密街道」。青山-中村-けやき坂-小宅-垣内-矢野-上郡-赤穂で山里の街道面影が残る。



旧山陽道の道標(青山)



旧山陽道と県道724号の交わる角に在る。安政2年(1855)建立。高さ2.13mで市内最大級の道標。「右 因州・伯州・作州・雲州。左 備前・九州。東は姫路・大坂・京・江戸」とあり、さらに距離を表示。市指定文化財。



人丸神社



稲岡神社西の小丘にある神社で柿本人麻呂を祀る。本殿は方形造りの宝珠を載せた珍しい屋根である。坂下の立江地藏尊は、四国第19番霊場立江寺の延命地藏菩薩「立江のお地藏さん」を祀る。旧山陽道筋にあったのを今の地に祀る。



旧山陽道街並と教専寺



青山を東西に旧山陽道が通る。街道沿の古い街並風景は、格子の縁や馬避けの跡などが途切れ途切れだが残っている。教専寺は、夢前川の西、旧山陽道沿にある。享保11年に青山の西山麓から現在地に移された。本堂は平成6年に焼失。



法灯寺(遠山の地藏さん)



青山北公民館の北にあり、今は「遠山の地藏さん」と呼ばれる。嘉吉2年(1442)太田垣氏が建立し、法光上人が開基の法灯寺の跡と伝えられる。本尊は大日如来で、以前は、各地から多くの参詣者があったという。



黒田官兵衛古戦場跡



龍野城主赤松政秀が青山へ攻勢した時、黒田官兵衛が必死で守防した戦場跡。後方の池は「千石池」であるが、地元では「戦国池」と呼び、池底には戦死した屍の首が転がっていると恐れられた。現在は、ゴルフ場や宅地に。



矢落ちの森



天正4年(1576)「播磨府中めぐり」に、神功皇后伝説の3本の矢のうち、二の矢が「青山村の大石にあたり、神に祠り、射目崎の神というのか」とある。余部駅西側に「矢落ノ森」の石碑がある。明治時代の矢落小、余部南小の跡地。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

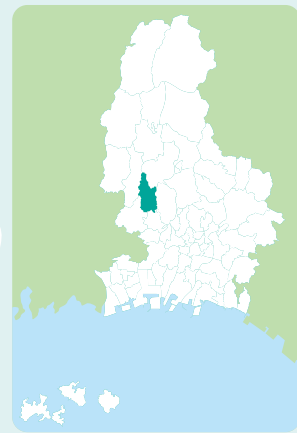
4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

峰相地区

別紙MAP
C-5



-  遺跡・史跡、
歴史上の名所
-  神社・仏閣、
歴史的建造物
-  歴史上の
人物など
-  祭り
伝統行事
-  美術品
-  伝統芸能
など
-  景勝
-  生物・花
-  町並み
-  etc その他



0m 500m 1km

山陽自動車道

打越木もれ日の森



兵庫県が「ひょうご豊かな森作りプラン」に基づいて、平成8年3月、打越が所有する林野を整備した。散策路は北コースと南コースがある。



大谷古窯跡



大阪四天王寺が戦災で消滅し再建の際、創建当時の跡を発掘調査したところ、鋸歯文縁複弁六葉蓮華文で飾られた鴟尾片が出土した。これと同種の鴟尾片が、すでに打越大谷窯跡付近から発見されている。



大塚三郎右衛門の碑



岩崎山の東端に大塚氏の墓があって、傍らに三郎右衛門の功績を讃えた石碑がある。碑文には、特に弓芸に優れた三郎右衛門は深く浄土真宗に帰依し、本願寺の顕如上人を最も尊崇していたとある。



固寧倉(刀出)



姫路城主酒井忠道が飢饉や災害に備えて米や麦を蓄えた倉として設置。固寧とは書経の「民ハ惟レ邦ノ本、本固ケレバ邦寧シ」による。扁額の揮毫は、藩主が幕府の儒者林大学頭述斎に依頼し、その子樗宇が書き櫓の板に彫刻したもの。



権頭六角公紀恩碑



この碑は、明治33年、六角公の450回忌を記念して子孫の本城氏が建立した。碑には、始祖は赤松氏で、山名氏との戦いに破れ書上山に遁れていたが、やがて山を下り、荒地を拓いたとある。



清水公照師



六角東道家の生れ、昭和50年大僧正華厳宗管長、東大寺住職第207世別当に就任、53年東大寺第208世管長に再任される。55年大仏殿昭和大修理落慶法要を主宰勤修する。56年東大寺宝蔵院長老となり游叟と自称する。



飛渡



刀出橋の少し上流で、菅生川を渡った場所を今も飛渡(とびと)といっている。昭和51年の台風17号の洪水で土砂に埋もれていた平らな石3個が現れた。花山法皇が性空上人を訪ねて渡られた御幸道の飛渡石であると伝わる。



白鳥台今昔



戦後まもなく、営農研究所が設置され、牧場には数百頭の乳牛が草を食み、池の辺りに山荘があった。昭和45年農場を閉鎖し、宅地開発が進められ、小学校区が白鳥であったので、白鳥タウンと称した。



峰相山と鶏足寺



打越・石倉・下伊勢・上伊勢にまたがる標高239.7mの山で、尾根伝いに近畿自然歩道が書写山・峰相山を経て林田方面へと通じている。鶏足寺は、新羅の王子の創建といわれ、奈良時代に隆盛を極め、鎌倉時代末期に衰微した。



六川



江戸時代中期、宝暦年間(1753～1761)刀出村と打越村とで刀出下代井堰からの取水をめぐり、打越村は大阪奉行所に提訴、宝暦11年(1761)打越村主張の権利割合の六分が六川の名称で残る。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プランの概要」

3 地域夢プランのとりえ方
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

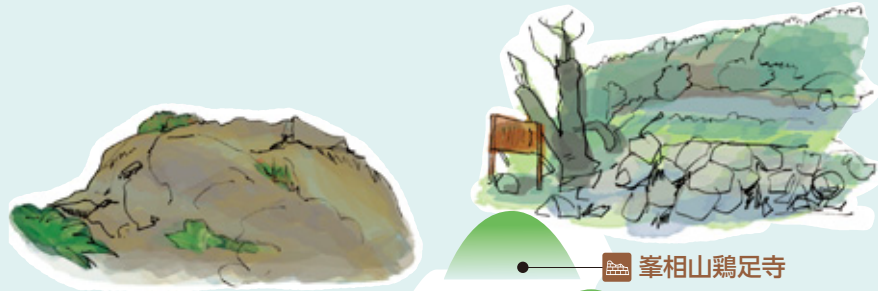
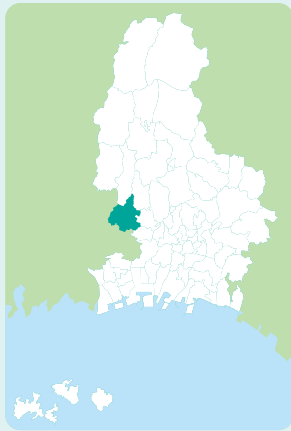
4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧

24

太市地区

お お い ち

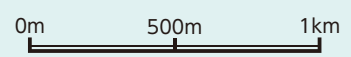
別紙MAP
B-6、C-5・6



破磐神社 干燈祭
破磐神社 奉点燈祭



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り 伝統行事
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他



石の鞍



石倉稲荷神社の入口西側にあり、播磨の名所古跡として古くから知られる。里人がこれを神と崇め祭った時代があり、岩鞍の社と題して「神の世の岩くらなれは今の世のぬかつき絶えぬ里の諸人」という古歌が「播磨鑑」にある。



筍組合

etc

太市では約530ヘクタールの竹藪がある。3月下旬から5月中旬までの間、竹藪を所有する組合員約300軒が、朝掘りした筍を出荷し、組合を通して店頭販売や市場に出荷する。水煮筍は缶詰にしている。



太市たけのご祭り



4月中旬、太市小学校運動場で「たけのご祭り」が開催される。朝掘りの灰汁の少ない生筍を買いに遠方からも多くの人々が来場する。生筍販売のほか、筍ご飯や筍の天ぷらの販売、水煮筍の丸かじりなどもある。



破磐神社 千燈祭



7月31日の千燈祭は、田植え後の育ちつつある稲が、害虫の被害もなく豊穡で、猛暑に負けることなく息災で過ごすことができるようにと、当時は貴重であった菜種油を土器に入れ、燈芯に火をつけ神前に供え、祈願したのが始まり。



太市の筍



「姿は京都の山城、味は姫路の太市・・・。」と味は日本一の自慢の筍。冬場の伐採と土造りで人の手を入れるが、鉄分に富んだ粘土層の赤土が甘くて柔らかな筍を作る。明治初期から出荷。今では年間300トン近く出荷する大産地。



破磐神社 奉点燈祭



羽柴秀吉の意に従わなかった峯相山鶏足寺が焼き討ちされ、その時焼死した僧や氏子の供養を8月15日に行ったのが起源。松明に御神火を移し、音頭を歌いながら練り「エント!エント!」の掛声と共に松明で容赦なく叩き合う。



邑智(大市)駅家



「延喜式」によると播磨国の古代山陽道沿いには七つの駅があり、その一つが邑智(大市)駅家。駅家では馬を飼い、役人の宿泊や馬の乗り継ぎに利用された。向山の古瓦出土地が邑智駅家跡と思われ、字名として「馬屋田」が残る。



破磐神社と割れ岩



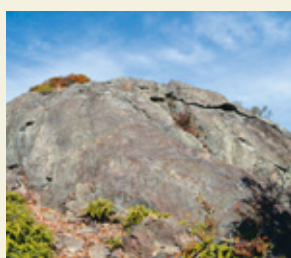
祭神は、神功皇后・仲哀天皇・応神天皇。往古、神功皇后が麻生山から戦の勝利を祈願して放った3本の矢のうちの1本が太市郷西脇村の大磐を3つに破ったとされる。これを吉兆としてその矢を祭ったと伝えられている。



亀岩の伝説



岩全体が亀の甲羅に似ていることから名づけられた。亀岩のくぼみには、年中枯れずに水がたまっている。崇神天皇の時代、この岩に香稻が4本生え、天皇の命令により、稲種が全国に広まったと言われている。



峯相山鶏足寺



峰相山山頂南西斜面の数段の平坦面が鶏足寺跡と想定される。鶏足寺は神功皇后が連れ帰った新羅国の王子が草創したと伝えられている。天正6年(1578)羽柴秀吉に抗したために全山焼失し、その後再興されず廃寺となった。



1 地域夢プランの歩み
～はじまりから～

2 地域夢プランのかたち
～取組の類型化～

3 地域夢プランのとりえ
～検証と未来へのアプローチ～
(1) 「姫路市地域夢プラン」の概要

3 地域夢プランのとりえ
～検証と未来へのアプローチ～
(2) 地域資源を活用したまちづくりと展望

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(1) 地区ごとの主な地域資源

4 地域資源の全リスト
～地区からの情報発信～
(2) 地域資源一覧